

教科名	公 民	単位数	2 単位	担 当 者	倉部 英利子・西川 司
科目名	公 共	年次	2 年次		
使用教科書 副教材等	教科書 高等学校 改訂版 新公共 (第一学習社) 副教材 改訂版 新公共ノート (第一学習社)				
1 学習の到達目標 (育成すべき資質・能力)					
<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための概念や理論について理解できるとともに、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断し、構想したことを議論することができる。 ・現代の諸課題を主体的に解決しようとすることができるとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を持ち、国民主権を担う公民として、自国の平和と繁栄を図り、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚することができる。 					
2 学習の評価 (評価基準と評価方法)					
観 点	a. 知識及び技能	b. 思考力, 判断力, 表現力	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題の解決にあたり、意欲的に議論に参加し、主体的に解決しようとしている。		
主 た る 評 価 方 法	定期考査などの筆記試験	定期考査などの筆記試験 授業での発表 ワークブックにおける記述 レポート等の作成	授業での取り組み ワークブックの作業・提出 プリント、レポート等の提出		
占 め る 割 合	50%	30%	20%		
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
前期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	○	◎	○	a. 先哲の思想など、社会に参加する際の選択・判断の手掛かりとなる概念や理論を理解している。 b. 公共的な空間を作る存在であることを、事例や議論を通して思考し、自己の考えをまとめ表現することができる。 c. 公共的な社会を形成する自己のあり方や、個人としての生き方を探ろうと行動している。	a. 筆記試験 b. 授業での発表、ワークブックの記述、レポート等の作成、筆記試験 c. 授業での取り組み、ワークブックの提出・記述、プリント等の提出・記述
	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 1 法や規範の意義と役割 2 契約と消費者の権利・責任 3 司法参加の意義 第2章 政治的な主体となる私たち 4 政治参加と公正な世論形成 5 国際社会と国家主権 6 日本の安全保障と防衛 7 国際社会の変化と日本の役割 第3章 経済的な主体となる私たち 8 雇用と労働問題 9 社会の変化と職業観 10 市場経済の機能と限界 11 金融のはたらき 12 財政の役割と社会保障 13 経済のグローバル化	◎	○	○	a. 法と基本的人権の関係や、法の規範に基づく民主主義を成立させる原理と具体的な制度、現代における国内・国際経済のしくみと諸課題を理解している。 b. 政治的・経済的な主体としての存在とは何かを思考し、他者との議論や協働を通して自己の行動のしかたを見出し表現することができる。 c. 国際平和や、国際経済における貧困や格差などの課題について、その背景や原因を探ろうとしている。	a. 筆記試験 b. 授業での発表、ワークブックの記述、レポート等の作成、筆記試験 c. 授業での取り組み、ワークブックの提出・記述、プリント等の提出・記述
	後期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	○	○	◎	a. 課題の設定のしかたや情報の収集方法や分析、考察や論述のしかたを理解している。 b. 課題解決にあたり、多角的な視点から思考し、事実に基づいた選択や判断をまとめ、論述し、発表することができる。 c. 持続可能な社会の担い手として、現代社会における課題を取り上げ、主体としての立場でその解決を提案しようとしている。